

かわさきパラムーブメント推進フォーラム 取組提案検討資料

No.	分野	委員	事業名	提案の概要	実施に向けた考え方（事務局案）		
					プロジェクト化の時期	実施手法	備考
1	ひとづくり	小倉委員	マイノリティの理解促進	<p>パラムーブメントは、全ての人にやさしいまちづくりと考えると、高齢者、障害者（知的、身体、精神全て）、外国人、子どもにとって、住みやすくなっているかのチェックも必要。また、マイノリティを市民が理解することが必要だが、現段階では不十分。</p> <p>〔実施内容〕</p> <p>①学校における障害者理解教育の推進とパラリンピアン活躍の紹介。違いを理解し共有することで心のバリアフリーが培われる。</p> <p>②各社協における市民向けの障害者理解教育の推進（実践している区もある）</p> <p>③外国人に分かりやすいサインの掲示、情報発信。</p> <p>④来日から日の浅い在住外国人が、分かりやすい日本語に直した情報発信。（日本語のルビ打ちも行われているが、ルビのひらがなが読めても、内容が分かっているわけではない。）現在の市の情報発信内容を検討する。</p> <p>⑤ハラル食、ベジタリアンへの対応。現在、ハラルのメニューを置いている店もあるが、限られており、イスラム圏の方が行けるレストランの紹介は必須。また、もっと厳しいベジタリアンが行けるレストランの情報発信も必要である。</p> <p>⑥市内のホテルに関しても同様の情報を提供する。（川崎市の青少年の家では、宿泊学生へのハラル、ベジタリアンへの対応はきちんとできている。）</p>	<input type="checkbox"/> 既に実施中 <input type="checkbox"/> 2016年度から <input type="checkbox"/> 第1期推進期間中（2016・2017年度） <input checked="" type="checkbox"/> 引き続き検討	<input type="checkbox"/> 市が実施する事業の中で協働で展開 <input type="checkbox"/> 推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施 <input checked="" type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> その他	<p>●提案が幅広いため、既存の市の事業との関連性を整理することとし、その過程で課題への対応について、検討を進めることとしたい。</p>
2	ひとづくり	島委員	「かわさき 障害者権利条約（イエローリボン）実践都市&市民宣言」（仮）	<p>パラリンピック開催の基本ルールとなる「IPCアクセシビリティガイドライン」も含め、障がい者の尊厳尊重、社会生活における権利保障は、「障害者権利条約」において国際的に約束されている。日本は他国に遅れて平成26年1月に批准したが、社会への周知や普及が進んでいない。定期的な国連への実施報告義務も伴う本条約につき、その理解を促し、日々の社会・市民生活の中で実践する都市、市民として、日本障害フォーラム（JDF）を中心に展開される「イエローリボン運動」を支援しリードして、川崎市のシビック・プライドを育てる活動を展開する。子どもを主たる対象に、教育現場やPTA、子ども関連NPO等を巻き込み推進する。</p> <p>〔実施内容〕</p> <p>①保育園・幼稚園、小学校等に対し、JDF監修のえほんを配布する。授業その他で購読を進めるとともに、関連のカリキュラムによる理解醸成を図る。えほんについての感想文コンクール等を実施。</p> <p>②川崎市内の企業、組織、団体等に対し、イエローリボン運動のパンフレットを配布し啓発を図る。運動に熱心な主体についてはイエローリボン団体としての認定を行い、川崎市として評価する。</p> <p>③川崎市による「障害者権利条約」の理解のための施策の実施</p>	<input type="checkbox"/> 既に実施中 <input type="checkbox"/> 2016年度から <input type="checkbox"/> 第1期推進期間中（2016・2017年度） <input checked="" type="checkbox"/> 引き続き検討	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施する事業の中で協働で展開 <input type="checkbox"/> 推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施 <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> その他	<p>●提案内容に関連する事業所管局と調整・検討の上可能なものから取組を進めることとしたい。</p>
3	ひとづくり	島委員	「かわさき はばたけ、チャレンジド！～パラリンピックとともに」（仮）	<p>パラリンピック・ムーブメントを展開する中で、新たなダイナミズムをもった社会の構築を実現するために、スポーツ分野以外での障がい者の活躍の場面を提供する。</p> <p>〔実施内容〕</p> <p>全国の障がい者が、パラリンピック応援をテーマとした製作物（スイーツ、グリーティングカード等）を企画・制作し、そのコンテストを川崎市が主催する。優秀作品には販売の機会（別途提案の「ワンデーフェスタ」やパラリンピック支援イベント等）を提供し、障がい者の就労、収入確保の実例を示していく。</p>	<input type="checkbox"/> 既に実施中 <input type="checkbox"/> 2016年度から <input checked="" type="checkbox"/> 第1期推進期間中（2016・2017年度） <input type="checkbox"/> 引き続き検討	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施する事業の中で協働で展開 <input type="checkbox"/> 推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施 <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> その他	<p>●障害者雇用・就労促進かわさきプロジェクトとの連携を検討したい。障害者のアートを市職員の名刺デザインとして採用する等の展開も考えられる。</p>
4	ひとづくり	須藤委員	「15分単位 アルバイト」	<p>障害者の社会参加推進プロジェクト。2016年4月の障害者差別解消法の施行等を背景に、新しい働き方の実装/研究と川崎モデル化を進め、全国自治体への波及を狙う。</p> <p>東京大学先端科学技術研究センター、川崎市商工会議所、経済労働局、健康福祉局との連携・協働により取組を進める。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 既に実施中 <input type="checkbox"/> 2016年度から <input type="checkbox"/> 第1期推進期間中（2016・2017年度） <input type="checkbox"/> 引き続き検討	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施する事業の中で協働で展開 <input type="checkbox"/> 推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施 <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> その他	<p>●障害者就労支援事業（健康福祉局）の中で検討中の「短時間雇用プロジェクト」を拡充する方向で取組を進める。</p>

No.	分野	委員	事業名	提案の概要	実施に向けた考え方（事務局案）		
					プロジェクト化の時期	実施手法	備考
5	ひとづくり (スポーツ振興・健康づくりから変更)	須藤委員	「就労体験イベント」	身体・精神・知的などの障害をお持ちの方、ひきこもりの方、ホームレスの方などに、ワクワク・ドキドキするようなコンテンツでお仕事を体験して頂く「就労体験イベント」を実施。川崎市内では、2014年7月以降で実施しており、2014年度は市内だけで136人の方々が参加。2015年度は10月末現在で321人にご参加頂いている。今後、より多くの川崎市内の企業やスポーツチームなどとコラボレーションし、この取組みを拡大。2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催の際には、全スタッフの6%相当は、なんらかのハンディを持った方々が働いている姿を、「川崎モデル」として、当たり前の風景にしていく。	<input checked="" type="checkbox"/> 既に実施中 <input type="checkbox"/> 2016年度から <input type="checkbox"/> 第1期推進期間中(2016・2017年度) <input type="checkbox"/> 引き続き検討	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施する事業の中で協働で展開 <input type="checkbox"/> 推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施 <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 障害者就労支援事業（健康福祉局）としてピープルデザイン研究所との連携により実施中の取組の中で展開していく。
6	ひとづくり	中澤委員		<ul style="list-style-type: none"> 各企業の社員教育に「障害者差別解消法」の考え方を織り込む（大人の教育）。 子どもの教育における、特別支援学校との交流など。 	<input type="checkbox"/> 既に実施中 <input type="checkbox"/> 2016年度から <input type="checkbox"/> 第1期推進期間中(2016・2017年度) <input checked="" type="checkbox"/> 引き続き検討	<input type="checkbox"/> 市が実施する事業の中で協働で展開 <input type="checkbox"/> 推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施 <input checked="" type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 企業への「障害者差別解消法」の研修は、飲食店向けのぐるなび大学の中での実施を検討する。
7	ひとづくり	ロー委員	かわさきレジェンド	<p>ダイバーシティのまちづくりに「ムーブメント」を起こし、「レジェンド」とするために次の事業を行う。</p> <p>〔実施内容〕</p> <p>①かわさきレジェンドカード事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 福田市長に「かわさきレジェンド」のイメージキャラクターになって頂く 本事業で行う主にダイバーシティのまちづくりにつながるイベントを「かわさきレジェンド」事業として認定する 参加者に「かわさきレジェンドカード」を配布し、5枚たまる「ゴールドカード」、「ゴールド+10枚」で「プラチナカード」と交換できる 豊かな個性ある7つの区に、お祭りの競争の機会を設ける 体験談により語り継がれるメインストーリーを紡いでいくほか、都市伝説的なサイドストーリーも用意する <p>これらの取組を通じて、「区や団体・企業が行う講座やイベントに、ダイバーシティの視点を盛り込む習慣」「市民にとってダイバーシティの視点を取り入れられた環境で活動を行うことが当たり前となること」「市民に確実に伝わる市政の広報システム」「区内企業・団体、市民と行政の連携」等がレジェンドとして残る。</p> <p>②かわさき防災コミュニケーター事業を実施する。</p> <p>オリンピック・パラリンピック期間中の災害時対策として、外国人を含めた要配慮者支援活動を行える市民の養成や、リアル防災訓練で自助・共助・公助の連携を図り、市民や来訪者の命を守るかわさきを築くことを目的に</p> <ul style="list-style-type: none"> マニュアルや副読本、パスケースの作成やリアル避難所設置訓練の実施を通じて、支援の垣根を低くし、誰でもすぐに取り組める方法で要配慮者支援の啓発を行う 要配慮者も、体調や特性が考慮された形で積極的に参画していく 参加者で合意形成を行っていく 	<input checked="" type="checkbox"/> 既に実施中(②) <input type="checkbox"/> 2016年度から <input type="checkbox"/> 第1期推進期間中(2016・2017年度) <input checked="" type="checkbox"/> 引き続き検討(①)	<input type="checkbox"/> 市が実施する事業の中で協働で展開 <input type="checkbox"/> 推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施 <input checked="" type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> ①は提案自体をどのように行政の取組として展開できるかについて、検討を進めることとしたい。 <input checked="" type="checkbox"/> ②は既に団体が実施する事業をベースとしながら、市としての支援や、他の団体との連携について、協議・調整をしながら進めたい。
8	スポーツ振興・健康づくり	遠藤委員	東京オリンピックとパラリンピック同時開催への提案	<p>パラリンピックはオリンピックの後に開催されるため、メディア露出も少なく、観客も多くない。同時に開催するために川崎市で行われているゴールデングランプリでプロトタイプし、東京の本大会のために、さらには、以後続くであろうオリンピック・パラリンピックのプラットフォームの提案を行う。</p> <p>〔実施内容〕</p> <p>①川崎市の等々力陸上競技場で行われている健常者のための国際陸上大会ゴールデングランプリに2015年はじめて男子T44(下腿義足)のレースが行われた。一レースであったが、このレースは大きな国際大会としては初めて健常者の大会内で行われたレースであった。しかし男子T44はパラリンピックの陸上競技のたった一つであるため、出場できる選手が限られていた。女子やT43,42、さらには車いすのレースを毎年徐々に増やすことによって、障害者競技と健常者競技の同時開催のノウハウをため、開催のためのプラットフォームを蓄積する。</p> <p>②大会以外にも義足体験会や選手発掘事業などを行い、選手を増やす活動や、学校などで競技に関するワークショップを行い、パラリンピックの知識を広げる活動も同時に行う。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 既に実施中(①) <input checked="" type="checkbox"/> 2016年度から(②) <input type="checkbox"/> 第1期推進期間中(2016・2017年度) <input type="checkbox"/> 引き続き検討	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施する事業の中で協働で展開(①) <input checked="" type="checkbox"/> 推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施(②) <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 2015年度に実施したセイコーGPでのパラ競技の実施は、今後も継続できるよう関係団体との調整を進めていく。 <input checked="" type="checkbox"/> パラリンピックに学校における普及啓発の取組は「パラスポーツやってみるキャラバン」として展開する。

No.	分野	委員	事業名	提案の概要	実施に向けた考え方（事務局案）		
					プロジェクト化の時期	実施手法	備考
9	スポーツ振興・健康づくり	中森顧問	「かわさきパラムーブメント」への提案	<p>具体的な事業提案の前に、方向性を決めるほうが重要と考えました。その上で事業提案としたいと思います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 身体運動の日常化・・・元気な区民をつくる。増やす 寝たきり老人を作らない 2 スポーツの実践・・・目的を持った生き方、心を鍛えるなど 3 強化選手の日常強化環境の整備・・・地方公共団体の支援 4 パラ選手のTV映像や写真など露出物の増加 ・・・TV放送、ポスター、街頭デモンストレーション 5 学術研究の推進・・・大学でのパラスポーツ専攻課程の設置 6 リハスポーツの復活・・・病院でのリハビリ期間の延長 7 障がいのある児童・生徒のスポーツ権 ・・・合同体育の実施・パラスポーツ推進校の設置 8 日本人の変化と豊かな未来のために ・・・「豊かなこころ」を持つために 9 歴史・現状から見た、日本と川崎のすばらしさ（東京を参考に） 	<input type="checkbox"/> 既に実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 2016年度から <input type="checkbox"/> 第1期推進期間中（2016・2017年度） <input type="checkbox"/> 引き続き検討	<input type="checkbox"/> 市が実施する事業の中で協働で展開 <input type="checkbox"/> 推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施 <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>●全てのプロジェクトの土台となるため、提案の方向性を推進ビジョンに取り込むこととしたい。</p>
10	スポーツ振興・健康づくり	菊地委員	「オープンエア」コンセプトの導入と普及	<ol style="list-style-type: none"> 1、健常者と同様に、障害があっても利用できるプログラムやサービス、施設等であることを、分かりやすくするための「オープンエアマーク」を全市域で統一のものとして導入し、当事者のアクセシビリティ向上はもとより市民全体に優しい利用空間・生活環境をトータルデザインする。 2、障害に対する基本的な認識を持つ人材を育成する「オープンエアメーカー制度」を活用し全市域において育成をすることで、地域における継続的な障害者スポーツ環境の整備を行う。 3、高津SELFですでに実施しているボランティアポイント「スマイルメーカー」をモデルとした人材活用システムの構築。 	<input checked="" type="checkbox"/> 既に実施中 <input type="checkbox"/> 2016年度から <input type="checkbox"/> 第1期推進期間中（2016・2017年度） <input type="checkbox"/> 引き続き検討	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施する事業の中で協働で展開 <input type="checkbox"/> 推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施 <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> その他	<p>●スポーツ庁補助事業で、市と総合型スポーツクラブSELFが協働で実施する「障害者スポーツ普及促進事業（かわさきインクルージョンモデル）」において、今後の展開を検討していく。</p> <p>●オープンエアマークは他のロゴマークとの関係性を整理しながら検討を進める。</p>
11	スポーツ振興・健康づくり	島委員	かわさき エブリデー・パラ応援ムーブメント（仮）	<p>川崎市のもつ多様なポテンシャルを活用しながら、教育現場におけるパラリンピック、パラスポーツに係る学習と体験の機会を創出し、草の根に裾野広く浸透する意識・理解醸成の活動を展開する。各学校での点としての取り組みを線として、さらには面として市民社会の中で育むために、年に一度、パラリンピック、パラスポーツをテーマとしたイベントを開催する。当該イベントは全国に向けて発信し、日本で初めて川崎市が実施する包括的なパラリンピック、パラスポーツ支援の取り組みとして評価を得るとともに、パラリンピック・ムーブメントのモデルイベントへの位置付けを獲得する。</p> <p>〔実施内容〕</p> <ol style="list-style-type: none"> ①市内小中高等学校における、パラスポーツを知り、体験する機会を提供する「キャラバン」（巡回講座）の通年実施 ②川崎市のパラムーブメントを市全体、さらには、全国に向け発信力を示すためのワンデーフェスタの開催（各校のキャラバン体験報告・共有の場を提供するとともに、チャレンジ授業やパラリンピアンとの出会いの場をより多くの市民のために拡充） 	<input type="checkbox"/> 既に実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 2016年度から <input type="checkbox"/> 第1期推進期間中（2016・2017年度） <input type="checkbox"/> 引き続き検討	<input type="checkbox"/> 市が実施する事業の中で協働で展開 <input checked="" type="checkbox"/> 推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施 <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> その他	<p>●パラスポーツやってみるキャラバンとして展開</p>
12	スポーツ振興・健康づくり	瀬戸山委員	パラスポーツを体験してみよう！	<p>パラスポーツを体験できる取組を展開する。</p> <p>〔実施例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の授業として各校をめぐる。（体験とともにパラスポーツを支えるボランティアの講義、実践を授業として取り組む。） ・障がい者、健常者も参加できる車いす駅伝リレー、車いすファンランを企画（ハロウィンダッシュのような、平地でのファンランであれば参加できるのでは？） ・プロスポーツ選手と一緒にパラスポーツを体験できる取組の実施。 	<input type="checkbox"/> 既に実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 2016年度から <input type="checkbox"/> 第1期推進期間中（2016・2017年度） <input type="checkbox"/> 引き続き検討	<input type="checkbox"/> 市が実施する事業の中で協働で展開 <input checked="" type="checkbox"/> 推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施 <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> その他	<p>●パラスポーツやってみるキャラバンとして展開する。</p>
13	スポーツ振興・健康づくり	瀬戸山委員	障害者スポーツのNTCを整備	<p>世界でもトップクラスの障がい者スポーツ施設をつくる。障がい者スポーツのナショナルトレーニングセンター。</p> <p>横浜に「横浜障がい者スポーツセンター ラポール」があるようだが、スイス・ノットウィルにある「スイスパラレジックセンター」のような世界最高基準（おそらくヨーロッパが先進的なのではないか）の施設をつくることによって国内唯一無二の価値となる。</p>	<input type="checkbox"/> 既に実施中 <input type="checkbox"/> 2016年度から <input type="checkbox"/> 第1期推進期間中（2016・2017年度） <input checked="" type="checkbox"/> 引き続き検討	<input type="checkbox"/> 市が実施する事業の中で協働で展開 <input type="checkbox"/> 推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施 <input checked="" type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> その他	<p>●予算規模の大きい取組であるため、実現可能性について調査研究が必要である。</p>

No.	分野	委員	事業名	提案の概要	実施に向けた考え方（事務局案）		
					プロジェクト化の時期	実施手法	備考
14	スポーツ振興・健康づくり	瀬戸山委員	かわさきパラスポーツクラブ設立とボランティアポイントカード	<p>パラスポーツに関する上記の施策を行うための事務局設置として「かわパラスポーツクラブ（仮）」などの会員性のクラブをつくる。またこの組織を通じてボランティア研修などを行い育成する。</p> <p>〔実施例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川崎市ノーマライゼーション先進市民ポイントカード <p>市が指定した項目（障がい者イベントやボランティアに参加、バリアフリー対策設置など）をクリアすると相応のポイントがたまる。ポイントにより市のサービスが優遇される。（公共施設の先行予約、優先予約。地域振興券に替えられる、市バス割引、市税優遇など。）</p>	<p>■ 既に実施中</p> <p><input type="checkbox"/> 2016年度から</p> <p><input type="checkbox"/> 第1期推進期間中（2016・2017年度）</p> <p><input type="checkbox"/> 引き続き検討</p>	<p>■ 市が実施する事業の中で協働で展開（障害者社会参加促進事業（健康福祉局））</p> <p><input type="checkbox"/> 推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施</p> <p><input type="checkbox"/> 引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	<p>● スポーツ庁補助事業で、市と総合型スポーツクラブ S E L F が協働で実施する「障害者スポーツ普及促進事業（かわさきインクルージョンモデル）」において、ポイント制の取組等が検討されているため、提案内容も踏まえ今後の展開を検討していく。</p>
15	スポーツ振興・健康づくり	瀬戸山委員	パラスポーツへの理解、認知度の向上	<p>① トップクリエイターがパラスポーツのクオリティの高いプロモーション映像を作成し、商業施設ビジョン、行政施設、プロスポーツの試合前、ハーフタイムでの放映、川崎市内の映画館での放映、TVKのCM等で放映することによりイメージを良くし、「かっこいい！」をいたるところで市民の目に刷り込んでいく。</p> <p>② 人が集まっているところで、パラスポーツのエキシビション＆体験（手話、点字等含む）＆トークショー＆展示（義足など）のプロモーション活動を行う。</p> <p>〔実施例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プロスポーツ興行の中でプロモーション ・ 商業施設でのプロモーション（クラブチッタ、ラゾーナ広場など） ・ 川崎みなとまつりでのプロモーション <p>体験するとスタンプラリーのポイントにいれたり、食肉割引券がもらえるなどの特典を付ける。</p>	<p><input type="checkbox"/> 既に実施中</p> <p><input type="checkbox"/> 2016年度から</p> <p><input type="checkbox"/> 第1期推進期間中（2016・2017年度）</p> <p>■ 引き続き検討</p>	<p>■ 市が実施する事業の中で協働で展開</p> <p><input type="checkbox"/> 推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施</p> <p><input type="checkbox"/> 引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	<p>● 既存の市イベント等による取り込みが可能かどうか市内で協議・検討を進め、対応可能なものから取組を進めることとしたい。</p>
16	スポーツ振興・健康づくり	中澤委員	スポーツ施設におけるバリアフリー化の推進	<p>・スポーツ関係施設のバリアフリー状況の把握と改善案の作成、及び情報の発信（スポーツをする側、観戦をする側両方の視点で）。</p>	<p><input type="checkbox"/> 既に実施中</p> <p>■ 2016年度から</p> <p><input type="checkbox"/> 第1期推進期間中（2016・2017年度）</p> <p><input type="checkbox"/> 引き続き検討</p>	<p>■ 市が実施する事業の中で協働で展開</p> <p><input type="checkbox"/> 推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施</p> <p><input type="checkbox"/> 引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	<p>● 平成26・27年度に実施した現況調査に基づき、市スポーツセンターを中心に取組状況を情報共有し、一定のルールを検討しながら必要と思われる改善に取り組む方向である。</p>
17	スポーツ振興・健康づくり	横島委員	小・中学校における障害者スポーツの普及・伝承	<p>区内小・中学校もしくはわくわくプラザにおいて障害者向け競技を指定し、区长杯・各区代表校による市長杯の争奪戦を行ない普及させていく。</p> <p>〔実施内容〕</p> <p>各区内の小・中学校において、ボッチャ・フライングディスク・スカットボール等に特化した競技の普及、施設開放を行なっている学校に体育指導員、障害者スポーツ指導員による指導の元に行なう。児童・生徒・高齢者の参加を促す。現在高津区で活動している S E L F を全区展開するイメージ。</p>	<p><input type="checkbox"/> 既に実施中</p> <p>■ 2016年度から</p> <p><input type="checkbox"/> 第1期推進期間中（2016・2017年度）</p> <p><input type="checkbox"/> 引き続き検討</p>	<p><input type="checkbox"/> 市が実施する事業の中で協働で展開</p> <p>■ 推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施</p> <p><input type="checkbox"/> 引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	<p>● パラスポーツやってみるキャラバンの展開パターンの一つとして検討していく。</p>
18	まちづくり	小倉委員	駅のバリアフリー再調査	<p>10年ぐらい前に、市内の障害者や市職員の障害者とともに、交通機関でのバリアフリーを調査したことがあるが、それ以降駅の改修等もあり、かなり変わっているものと思われる。まずは、乗換駅となっている中心駅を調査し、その後全部の駅の調査ができればいい。</p> <p>〔実施内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅へのアクセス、通路、エレベーター、スロープ、改札、ホームの形態、構内のトイレ、視覚障害者用のサインなど。 ・ 駅員の研修の実施状況の確認、視覚障害者、聴覚障害者への緊急時の情報伝達方法の確立。 	<p><input type="checkbox"/> 既に実施中</p> <p><input type="checkbox"/> 2016年度から</p> <p><input type="checkbox"/> 第1期推進期間中（2016・2017年度）</p> <p>■ 引き続き検討</p>	<p><input type="checkbox"/> 市が実施する事業の中で協働で展開</p> <p>■ 推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施</p> <p>■ 引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	<p>● リーディングプロジェクト「アクセシブルシティかわさき」として、店舗の調査とともに、アクセシブルの調査を実施する予定であり、交通機関のバリアフリー状況も調査内容に含まれる見込み。</p>

No.	分野	委員	事業名	提案の概要	実施に向けた考え方（事務局案）		
					プロジェクト化の時期	実施手法	備考
19	まちづくり	中澤委員	サイン計画や公共交通手段の利用のしやすさ改善、ICT活用検討	<ul style="list-style-type: none"> ・サイン計画の分かりやすさの改善（特に古い施設）。 ・公共交通手段の利用しやすさを改善（BF情報等 & ハードの改善）。 ・wifi等を生かして、観光施設、公共施設などの情報提供を実施（UD/BFに関する）。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 既に実施中 <input type="checkbox"/> 2016年度から <input type="checkbox"/> 第1期推進期間中（2016・2017年度） ■ 引き続き検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市が実施する事業の中で協働で展開 <input type="checkbox"/> 推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施 <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> その他 	<ul style="list-style-type: none"> ● バリアフリー基本構想及び推進構想に基づき、基本構想地区等において高齢者や障がい者等の移動の円滑化を目的とした点字ブロック設置や歩道の勾配改善等を実施中で、今後も取組を継続していく。 ● サインについては、現在（仮称）ユニバーサルデザイン方針を策定中である。
20	まちづくり	中村委員	障がい者から高齢者にやさしい住宅提供で、健康長寿を実現する社会	<p>空家の活用等による障がい者・高齢者の方々にとって利便性の高い居住サービスの提供。</p> <p>〔実施内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣のスポーツ施設をご案内するサービスや、その送迎サービス、生活にかかわるサポートを専用ダイヤルなどで支える住宅の提供。 ・空き家を2世帯、3世帯が心地よく過ごせる、低予算で高機能な2世帯住宅に造り変える。 ・車椅子利用者が活用しやすいバスなどの路線整備と合わせて、住宅の整備を行うことで、より利便性の高い住宅提供を行う。 ・建物全体が空き家になつて物件などにおいて、小規模保育機能を併せ持った住宅への建て替えにより、低層階を保育施設や障害者専用住居・駐車場に整備し、中高層階に高齢者用の住宅整備を行うなど、複合施設への建て替えが可能となり、街全体の活性化と、シルバー人材の有効活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 既に実施中 <input type="checkbox"/> 2016年度から <input type="checkbox"/> 第1期推進期間中（2016・2017年度） ■ 引き続き検討 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 市が実施する事業の中で協働で展開 <input type="checkbox"/> 推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施 ■ 引き続き検討 <input type="checkbox"/> その他 	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政と民間の役割分担の考え方や実施手法等についてのさらなる調査研究が必要であり、提案内容に関連する事業所管局と調整・検討の上可能なものから取組を進めることとしたい。
21	まちづくり	中村委員	障がい者用住宅設備ショールームの新設	<p>障がい者用の家具やバス、キッチンなどを展示するいわゆるショールームが国内においてほとんど見受けられないため、市有施設を活用し、障がい者用住宅設備のショールームを新設する。大手住宅設備メーカーに呼びかけ、出展を依頼し、ショールームへの出展にともなうメーカー各社の占有使用料の徴収と協賛金により運営費を捻出する。</p> <p>また、商品の専門知識を有するスタッフの配置と誘導により、多くの障がい者とその家族に貢献できる体制作りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 既に実施中 <input type="checkbox"/> 2016年度から <input type="checkbox"/> 第1期推進期間中（2016・2017年度） ■ 引き続き検討 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 市が実施する事業の中で協働で展開 <input type="checkbox"/> 推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施 ■ 引き続き検討 <input type="checkbox"/> その他 	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政と民間の役割分担の考え方や実施手法等について引き続き検討を進めていく。
22	都市の魅力向上	遠藤委員	老若男女、障害者、健常者すべての人が楽しめるハロウィンを町ぐるみで行うイベント	<p>現在、日本ではハロウィンは大人がコスプレをして町を練り歩くイベントが多いが、子供が仮装してお菓子をもらいながら歩くようなイベントはほとんどない。一方で、障害者は身体が健常者と異なる部位があるため、仮装には向いていない。そんな身体の特徴を生かせるのがハロウィンでもある。川崎市にある住宅街で、おとなも子供も楽しめるハロウィンイベントを行い、老若男女、障害者健常者すべての人が楽しめる機会を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 既に実施中 ■ 2016年度から <input type="checkbox"/> 第1期推進期間中（2016・2017年度） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 市が実施する事業の中で協働で展開 ■ 推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施 <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> その他 	<ul style="list-style-type: none"> ● リーディングプロジェクト「誰でも参加！インクルーシブなかわさきハロウィン」として展開していく。
23	都市の魅力向上	大塚委員	アクセシブルシティかわさき（仮称）	<p>障害当事者が本当に必要としている、外出（外食・宿泊・観光等）に関する情報を、障害当事者が自ら取材し、それらの情報をwebや紙媒体などで開示する事業。（障害当事者の取材に対する報酬を出し、社会参加、就労への意欲向上に繋げる）</p> <p>〔実施内容〕</p> <p>飲食店やホテル、観光施設等に出向き、障害当事者が本当に必要としている情報を取材する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗内外の画像と数値化した情報（段差や通路幅、扉の種類、テーブルの高さ等）や、多機能トイレ・障害者専用駐車場の有無等。 ・観光スポットにおいては、最短ルート以外に、路面の状況や坂道などのバリアが少ないルートを調査する。 ・公共交通機関においては、目的地までの乗降・乗り継ぎ・移動に関する最適ルートの確立。（スロープの有無やエレベーターの位置や距離） 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 既に実施中 ■ 2016年度から <input type="checkbox"/> 第1期推進期間中（2016・2017年度） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 市が実施する事業の中で協働で展開 ■ 推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施 <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> その他 	<ul style="list-style-type: none"> ● リーディングプロジェクト「アクセシブルシティかわさき」として展開していく。

No.	分野	委員	事業名	提案の概要	実施に向けた考え方（事務局案）		
					プロジェクト化の時期	実施手法	備考
24	都市の魅力向上	杉山委員	飲食店におけるユニバーサル化と非日常(外食)の楽しみを提供	飲食店における心のバリアフリーを推進し、障害者、車椅子、高齢者の受入れ可能な店舗を拡充するため、情報発信の充実や研修等に取り組む。 〔実施内容〕 ・外国語版・バリアフリー・車いすweb検索の充実（検索項目の追加） ・飲食店向けのぐるなび大学の実施（障害者差別解消法に基づく対応）	<input type="checkbox"/> 既に実施中 ■2016年度から <input type="checkbox"/> 第1期推進期間中（2016・2017年度） <input type="checkbox"/> 引き続き検討	<input type="checkbox"/> 市が実施する事業の中で協働で展開 ■推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施 <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> その他	●リーディングプロジェクト「アクセシブルシティかわさき」として展開していく。
25	都市の魅力向上	中澤委員		①宿泊施設のバリアフリー化のコンサル・助成金制度を創設（東京都を参考に川崎市として）。 ②パーソナルモビリティ（電動車いす、自転車など）のシェアリングを観光に生かす。 ③飲食店等の商業施設、宿泊施設のバリアフリー情報の発信（ぐるなび様、チッタ様等とのコラボ）。	<input type="checkbox"/> 既に実施中 ■2016年度から（①③） <input type="checkbox"/> 第1期推進期間中（2016・2017年度） ■引き続き検討（②）	<input type="checkbox"/> 市が実施する事業の中で協働で展開 ■推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施（①③） ■引き続き検討（②） <input type="checkbox"/> その他	●①はリーディングプロジェクト「宿泊施設のバリアフリー化促進プロジェクト」として展開していく。 ●③はリーディングプロジェクト「アクセシブルシティかわさき」として展開していく。
26	都市の魅力向上	北條委員	パラアート・プラットフォームの設立	現在、市内で実施されているバリアフリーの文化・芸術活動や障害者のパフォーマンス活動のプラットフォームを設立し、ゆるやかな連携のもと、それぞれの活動を発展させるとともに、プラットフォーム参加者全体としての新たな創造・創作活動を展開する。 〔実施内容〕 実施時期：平成28年秋からプラットフォームの参加者募集、準備会議開催、平成29年度からプラットフォームを設立参加予定者：音楽・映画のバリアフリー（ミュージアムほか）、映画上映バリアフリー（アートセンター）、音楽の骨伝導（ミュージアムほか）、チャリティ手話ライブ（D'LIVE）、しあわせを呼ぶコンサート（宮前区内障害者施設・作業所）、デフパペットシアター・ひとみ、ジェイミーのコンサート（小川典子）、障害×パフォーマンス（東京スターダンスバレエ団）、アールブリュット（岡本太郎美術館）など	<input type="checkbox"/> 既に実施中 <input type="checkbox"/> 2016年度から ■第1期推進期間中（2016・2017年度） <input type="checkbox"/> 引き続き検討	<input type="checkbox"/> 市が実施する事業の中で協働で展開 <input type="checkbox"/> 推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施 ■引き続き検討 <input type="checkbox"/> その他	●市が主体的に実施する事業の中でさらに「かわさきパラムーブメント」の視点に基づく取組を拡充させていくとともに、各団体が実施する事業をゆるやかに連携させる手法について検討を進める。
27	都市の魅力向上	山田委員	かわさきパラムーブメント推進 講演会、勉強会、説明会等（仮）	・オリンピック・パラリンピックについて企業の理解を深める。 ・先進的な事例紹介や、雇用を検討する人への対策セミナーなどを実施し、障害者の方が川崎で働きやすい、住みやすい環境を支援する。 〔実施例〕 講演会、セミナー形式 講師や題材については、委員会メンバーを中心に相談、依頼 ・パラスポーツ選手や主催者・運営側(JOC・JPCや支援団体等)からの講演会 ・障害を持ち創業された社長の講演や、雇用事例等を通じた経営ノウハウ等のセミナー ・障害者へやさしいまちづくり等の先進事例を紹介する講演会 ・障害者雇用導入に向けた実務的な研修会 等々・・・ ※内容については、現案。今後各委員から意見を貰い、改良していく。	<input type="checkbox"/> 既に実施中 ■2016年度から <input type="checkbox"/> 第1期推進期間中（2016・2017年度） <input type="checkbox"/> 引き続き検討	<input type="checkbox"/> 市が実施する事業の中で協働で展開 ■推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施 <input type="checkbox"/> 引き続き検討 ■その他	●リーディングプロジェクト「アクセシブルシティかわさき」として展開していく。 ●川崎商工会議所主催セミナーにおける実施についても検討していただく。
28	先進的な課題解決モデルの発信	中澤委員	福祉タクシーのネットワーク化、義足などのパラグッズ開発拠点	・福祉タクシーのネットワーク化、色々な制限の廃止に向けた取り組み（経済特区?）。 ・ものづくり、IT産業などを結びつけて新たなパーソナルモビリティ（新型車いす?）の開発。 ・川崎を義足などのパラグッズの開発拠点にする。	<input type="checkbox"/> 既に実施中 <input type="checkbox"/> 2016年度から <input type="checkbox"/> 第1期推進期間中（2016・2017年度） ■引き続き検討	<input type="checkbox"/> 市が実施する事業の中で協働で展開 <input type="checkbox"/> 推進フォーラム発のリーディングプロジェクトとして実施 ■引き続き検討 <input type="checkbox"/> その他	●福祉タクシーについては、リーディングプロジェクト「宿泊施設のバリアフリー化促進プロジェクト」の中で、アクセス上の課題の一つとして取り上げる見込み。